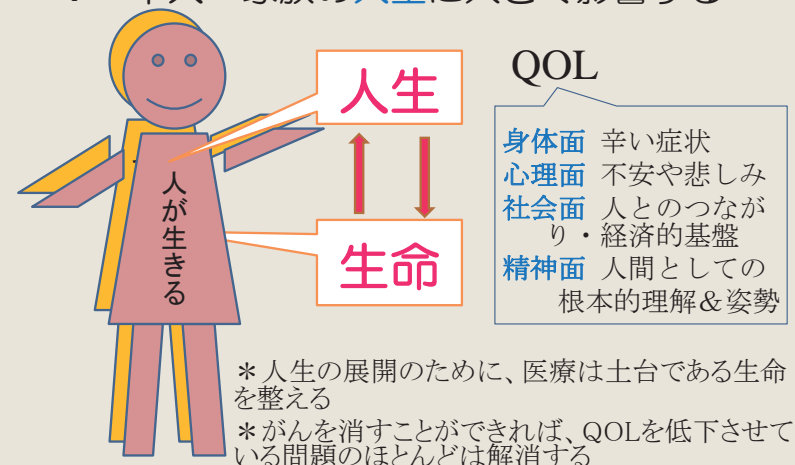


がん医療フォーラム2013

がんと共生できる 社会づくり はじめに

東京大学大学院人文社会系研究科
死生学・応用倫理センター 上廣講座
清水 哲郎

がんは**身体**の中にでき、**生命**を脅かす
→ 本人・家族の**人生**に大きく影響する



緩和ケア

定義 by WHO 2000

「緩和ケアは、生命を脅かす疾患に伴う問題に直面している患者と家族のQOLを、増進させようとする一つの手立てである」

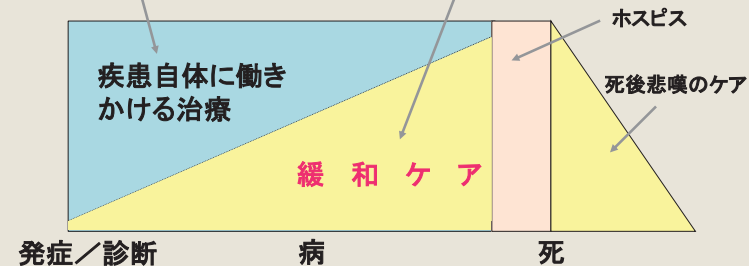
痛みその他の身体的、心理・社会的、精神的な諸問題について、早期にそれらを見出し、確実なアセスメントと対処（治療・処置）をすることによって、**苦痛を予防し、和らげる**ことを通して、

*がんになった人とその家族にとって居心地よい社会をつくることは、緩和ケアの社会的面の活動

ケアは継続的になされる

治癒・長持ち・緩和を意図する

症状コントロール・支えるケア



American Medical Association Institute for Medical Ethics (1999). *EPEC: education for physicians on end-of-life care*. Chicago, IL, The Robert Wood Johnson Foundation.